

待望の春が来た！



春は我が家にとって最高の季節です。冬は太陽が山に隠れ陽が入りません。陽当たりの良い家を見ると羨ましく思いますが、春になると陽が当たり、羨ましさも忘れ太陽のありがたさをつくづく感じます。

また、4月中旬には庭の池にオオヒキガエルが出没します。大昔から出ているようです。子供の頃は食べ物も少なくタンパク源として食べました。肉は鶏肉に似た食感で、その頃は美味しいものでした。カエルが出没する第一声は、ほとんど大安の日で不思議に思っています。今年も私にとってはかわいい珍客として心待ちにしています。

春になると楽しみの一つが山菜です。昔の畑の跡にウド、ワラビ、フキが採れ、家族で採って食べるのも楽しみの一つです。町の友人もこの時期に来て採っていくのを楽しみにしています。食べきれないものは冷凍にしたり、村の直売所で販売したりしています。最近では村にも観光客が多くなり売れ行きも良いようです。これも春の楽しみの一つです。

村の特産品であるジャガイモも3月から4月にかけて植付けをします。80キロほど植付けします。最近ではJAの協力により講習会、消毒、獣害対策等ご指導をいただき、前回より良いものが採れています。村でのジャガイモ品評会やJAの農畜産物品評会にも出品させていただき入賞しました。今後も良好なジャガイモを作るため努力したいと思います。

また、ルバーブも栽培していてJAの直売所に5月から10月頃まで納めていますが、認知度が低いので今後JAの協力を得ながら売上増を目指したいと考えています。



庭の池に来たオオヒキガエル



ルバーブ

しみず みつお
清水 満男 さん(松原地区)

表紙のことば

ご主人の周さんは、五日市の出身で2020年から養沢でヤギを飼育し、チーズを製造しています。

自宅横の山の斜面に広がるヤギ牧場では、大人ヤギ12頭、子ヤギ8頭の合計20頭が元気に迎えてくれました。春には出産ラッシュを迎え40頭近くまで増えるそうです。また、日本では珍しいヤギチーズは、自宅裏の加工所で周さんが手作りしています。

奥様の麻衣さんは在宅で会計事務所に勤務しています。子育てが一段落し、好きなお菓子作りがようやくできるようになりました。

長男の架くんは小学校3年生で体育のドッジボールが得意。双子の湊くんと仁哉くんは、保育園の年長です。湊くんは、ワサビとから揚げが好きで保育園では給食が楽しみ。仁哉くんは、パスタが好きで保育園では砂遊びが楽しいそうです。

周さんは、「生き物を飼っているので長く家を空けることはできないが、空き時間を利用したり、搾乳のない冬に小旅行にいったりして家族の時間を大切にしていきたい」と話しました。



堀さんご一家(五日市地区)

後列左から▶
ほり いたる まい
(ご本人)堀 周さん (妻)麻衣さん

前列左から▶
みなと じんや かける
(次男)湊くん (三男)仁哉くん (長男)架くん